

## 「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和3年3月8日

団体名 白根子行進曲を通じて白根の100年後を  
考える実行委員会  
代表者氏名 会長 富山 喜幸

### 1 提案事業名

白根子行進曲 南区ブランド力UP事業

### 2 事業内容

白根商店街の活性化をはかるため、コロナ禍でも可能な白根子をテーマとした発信活動を実施する。

○白根の歴史を知る白根子をテーマにしたまちあるきの実施

目的：白根子をテーマにした、白根商店街内のまちあるきを実施することで、区内外の方へ白根の歴史を知り発信する。

実施：①令和3年2月23日（火・祝）13:00～14:30 及び

②令和3年2月28日（日） 13:00～14:30 の2回実施

実績：①4名（南区内2名、南区外2名）②3名（南区外3名）が  
まちあるきに参加。

白根子をきっかけとして白根商店街に来た方に、白根子の大元となった白根大火などをはじめとした白根の歴史をレクチャーする街歩きを実施した。

参加者の感想として、「レトロな街並みを知れてよかった」「白根子のもとになった歴史を知ることができ、魅力的なまちであることを実感した。今後もぜひ訪れたい」と、まちあるきを通じて白根のまちのPRを実施することができた。

広報：BSN 夕方ニュースにて放映

○白根子カフェの開催

目的：白根商店街の店舗を活用することで、商店街を訪れた方との交流を図る。また、通常オープンしていないイベントスペースを活用することで、商店街の活性化に寄与する。

実施：①令和3年2月23日（火・祝）11:00～16:30 及び

②令和3年2月28日（日） 11:00～16:30 の2回実施

実績：【参加者】

①②ともに、20名が白根子カフェを訪れ、コーヒーや白根子サンドイッチを購入した。

訪れた人からは、「白根に住んでいるわけではないが、このような

交流できる機会があると非常に良いし、来たいと思う。」「外出の機会が減ってしまったので、こういう機会があればぜひ参加したい」という話もあった。

また、スペースに訪れた方が白根子や、白根の歴史などのお話で盛り上がり、過去の新たなお話が聞けるなど、交流によって歴史を深める場にもなった。

**【白根子に関するカフェメニューの制作】**

白猫型のサンドイッチを高校生が企画し、販売した。

**【その他】**

白根子行進曲や白根商店街であってほしいことを付箋に書いていただき、みなさんが考えていることを調査した。

今後の活動の参考にしていきたい。

**3 評価と課題（目的と成果、今後の取り組み等について記入してください。）**

○成果

まちあるきや白根子カフェを通じて、白根商店街や、白根の歴史を発信することに寄与できた。また、コロナ禍の中でも感染リスクを低くしながらも、交流できる場の機会をつくりだすことができた。

メディアやSNSなどを活用して、発信を行うことができた。

**【メディア発信について】**

- ・新潟日報(朝刊)掲載
- ・BSN 夕方のニュースで放映 広告換算費：3,268,303円

○課題

大規模なイベント実施はまだ難しいと思われるため、今後どのような関わり方で実施していくか検討する必要がある。

今年、実行委員会の組織化を進める予定であったが、コロナ禍で集まることができず、想像以上に組織化を進めることが困難となった。

今後の実施について検討していく事項としたい。

**4 実施状況写真**

まちあるきの様子



白根子カフェの様子

